

平成一六年四月一日、国立大学法人富山大学の誕生

国立大学法人化によって 富山大学はどのように変わる!?



瀧澤 弘 たきざわ ひろし

1935年生まれ 富山県出身
1957年 富山大学文理学部卒業
1960年 九州大学大学院文学研究科修士課程修了
1961年 鳥取大学学芸学部助手に着任
同講師、同教養部助教授を経て
1974年 富山大学教養部助教授に着任
1978年 同教授、同教育学部教授を経て
2001年 富山大学長に就任、現在に至る
専門分野：ドイツ語、ドイツ文学

今年4月1日をもって、全国に89ある国立大学が国の組織から離れ、法人化されます。戦後改革の一翼を担う新制大学として発足し、平成11年に開学50周年を迎えた富山大学は、法人化によってどのように変わるのでしょうか。さらに1年半後には、富山医科薬科大学、高岡短期大学との再編・統合と、大きな変革期を迎えるにあたり、大学の最高責任者である瀧澤弘学長と、おなじみの相本芳彦アナウンサーとの対談を通して、新たに生まれ変わる富山大学を皆さんにご紹介します。

■国立大学の自主・自立的な運営が可能に

相本 きょうは放送局の人間としてではなく、県民の一人として、また、大学受験生を持つ親世代の代表のような気持ちでまいりました。どうかよろしくお願ひします。

早速ですが、いよいよ四月から全国の国立大学が法人化されます。そこで、大学が法人化されるということは具体的にどういうことなのかお話しただけませんか？

それが四月からは法律（国立大学法人法）により独立した法人格を持つ国立大学法人富山大学が「富山大学」を設置する形になるのです。

相本 法人化によって国立大学の自由度が増すといわれるのも、その辺に関係があるのでしょうか？

瀧澤 これまでは、大学の組織改廃や施設整備、そして予算など、すべてが文部科学省の管理下にあったのですが、法人化後は独立した法人として、自主的、自立的に運営されますから、確かに自由度は増し



ユリノキ並木

■学生生活への影響は？

相本 在校生の身分や、学生生活への影響はどうですか？

瀧澤 学生の身分は旧富山大学から国立大学法人富山大学が設置する新しい富山大学に継承されるだけで、学生生活にとって不利益になることはありません。今後は学生に対する教育サービスの質の向上が非常に重視されますから、学習支援や就職支援等の面ではきめ細やかなサービスが行き届くようになり、学生の満足度はむしろ向上すると思います。

相本 我が家には大学生の子どもがいて、奨学金には大変お世話になっていますが、奨学金制度はどうなりますか？

があるようです。まず、大学の法人化というのは、民営化ではありません。もちろん、国立大学が私立大学のようになるわけでもありません。国の予算によって運営されることは基本的に変わらないのです。ただ、従来の国立大学は国が設置者であり、文部科学省の所轄機関でした。



相本 芳彦 あいもとよしひこ

1956年生まれ 高岡市出身
1979年 慶應義塾大学を卒業後、北日本放送株式会社入社
2000年 報道制作局アナウンサー部長に就任、現在に至る。

す。もちろん、大学を運営する資金も変わります。これまでは、人件費、施設整備費、校費、旅費というように費目ごとに細かく予算配分されていたのですが、法人化後は国から交付される運営費交付金、授業料収入及びその他の収入を大学自身で管理し、計画を立てて運用する形

「黒田講堂」小野美恵子 画
『キャンパス散策——富山大学開学50周年記念 絵葉書（1999年）』より

瀧澤 これまでの奨学支援事業は、日本育英会が大きな役割を果たしてきました。今回の改革で育英会は解散しますが、奨学支援事業は独立行政法人日本学生支援機構に移管され、奨学金制度は継続します。

■国立大学の基本的使命を維持

相本 それを聞いて安心しました。大学の基本理念も変わりませんね。

瀧澤 もちろんです。富山大学では平成十一年に、「一、生命を尊重する共生

の精神」「二、社会と共栄する学術研究の推進」「三、豊かな人間性と創造性を培う教育」「四、地域社会や国際社会への貢献」「五、たゆまざる自己啓発・自己改革」という五つの基本理念を掲げました。この基本理念の下で、各機能の断の改善・充実に努めることにしています。また、今後の中期目標、中期計画も、この基本理念を柱として作成しています。

相本 基本理念に基づいて、与えられた予算でうまく運営していこうというわけですね。ところで、中期目標や中期計

画とは？

瀧澤 中期目標とは、今後六年間に大学がどのようなことを目指すのかを明らかにするものです。その中期目標を達成するための計画が、中期計画です。国の予算は単年度ですが、大学運営は単年度では進まないのが六年度単位になっています。なお、計画の達成度は期間終了後に文部科学省の国立大学法人評価委員会により点検・評価され、



附属図書館

評価結果は次の六年間の中期目標、中期計画の策定及び大学の運営費交付金の算定に反映されることになっています。

相本 つまり、評価によって交付金が増減するわけですね。まるでサラリーマンの査定のようにですね(笑)。

瀧澤 ある意味で、大学も経営努力が必要になってきます。財政問題は非常に難しい問題ですが、何とかクリアしていきたいと考えています。

ただ、大学は企業と違って利益を追求するわけではありません。長い目で見て、教育と研究における成果をあげるといふことに尽きると思います。特に基礎研究の分野では、

懸命に研究に励んでも六年間まったく結果が出ないというケースも珍しくありませんから。

■授業料は現行標準額を維持

相本 数年後に大学受験を迎える子ども親として、もう一つ気になることがあります。私が読んだ資料によると、授業料は一定の範囲内で大学側が決めることができるという書いてありました。やはり法人化によって授業料も上がるのでしょうか。

瀧澤 確かに、授業料標準額の上下10%の範囲内で各大学が決めてもいいことになっていますが、10%といえどもかなりの金額になりますし、値上げは避けたいと思っています。今のところ、本学としては授業料を上げるつもりはありません。教育の機会均等は国立大学の使命として大変重要であり、今後とも標準額



を守っていきたくて考えています。

相本 大学の運営体制も大きく変わるそうですね。

瀧澤 従来は、学長、副学長、学部長、学部の代表である評議員で構成される評議会が最終的な意思決定機関でした。これは各学部の相互理解のもとに物事を進める上で良かったのですが、状況次第では学部の利益代表になってしまいう危険性もはらんでいました。改革の必要性が認められても、それが特定の学部の利益に反する場合、非常に改革が進みにくい状況があったのは事実です。

これからは、経営上の重要事項は経営協議会が、教育研究上の重要事項は教育研究評議会が審議することになり、学長が両審議機関の議長となります。その上に、学長と理事からなる役員会が設けられ、運営上の重要事項に対する最終決定権と責任を持ちます。法律では役員会の理事を四人置くことになっており、役員会には一名、経営協議会には半数の学外有識者が加わります。

相本 学外有識者が運営に関わるようになり、学長の権限が今までより強くなるわけですね。まさかとは思いますが、万が一、学長が暴走してしまつたらどうなりますか？

瀧澤 心配はご無用です(笑)。独断が通らないような歯止めは十分に考えてありますから。例えば、学長選考会

議は監督権を持つっており、学長の罷免を文部科



南日恒太郎像

国、総合大学としても、総合大学としての体制が揃っている大学は、それほど多くないのです。有馬朗人元文部大臣と雑談をしていたとき、「産学連携は大事だけれど、大学と

■基礎的分野を尊重しつつ、産学連携を推進

学大臣に申し出ることもできるんです。これがうまく機能すれば、より良い組織になるはずですね。

相本 よく考えられた仕組みですね。

瀧澤 いずれにしても、組織や制度は運用する人の問題です。そういう意味でも、本学には十分な人材は揃っていると思っています。

相本 法人化によって、大学で生まれたいベンチャービジネスをうまく活用して利益をあげる機会も増えるのでは？

瀧澤 それは十分可能です。ただし、産学連携のメリットは、ベンチャービジネスで収入を得ることより、むしろ地域の産業に貢献できる点にあります。大学の研究成果を地元還元する意義が大きいです。

相本 まったく同感です。大学はあくまでも学究の機関ですから。

瀧澤 産学連携を進める一方で、産学連携には直接結びつかないような基礎的な学問分野をつぶしてはいけません。全

国、総合大学としても、総合大学としての体制が揃っている大学は、それほど多くないのです。有馬朗人元文部大臣と雑談をしていたとき、「産学連携は大事だけれど、大学と

してサンスクリットをつぶしてはいけません」とおっしゃいました。サンスクリットというのは古代インド語で、本学にはサンスクリットの講座はありませんが、人文・社会科学や自然科学などでは基礎的な研究をしている分野がいくつもあります。今すぐお金にならなくても、そういう学問が大学にとつては非常に大事であり、それがなくなると応用的な研究の面でも大きなマイナスにつながります。

相本 今後はより一層、社会に開かれた透明な運営が求められますね。

瀧澤 情報公開制度も、当然継承されますが、運営に関してはこれまで以上に積極的な情報発信に務め、社会・国民のニーズに対応できる大学であることをアピールしていきたいと思っています。現在も評議会や部局長会議の議事要旨をホームページで公開しています。

また、三年前に本学では、入学試験の合否判定ミスがあり、間違いを犯したというだけでなく、それを数年間にわたって隠していたことについて、社会から強い批判をお受けしました。このときの教訓から生まれたのが、「ヘルプライン」という考え方です。誰かが問題点を指摘した場合、もしも上司が握りつぶそうとしても、その人と声を守れるような制度にしたいと考えています。

相本 「ヘルプライン」というのは、いい響きですね。「内部告発」という言葉は密告みたいであまりいい感じがしません、「ヘルプライン」なら抵抗がありません。



ヘルン文庫の蔵書棚

「神国日本」手書き原稿

■オンラインワンを育てたい

瀧澤 富山大学には、オンラインワンと呼べるものが結構あるんです。全学的なものとしては、極東地域研究センターを中心とした極東地域の社会、経済、そして環境についての学際的、融合的な研究の推進があげられます。また、水素同位体科学研究センターを中心に次世代エネルギーに関わる基礎研究を推進しています。目立たなくても地味ですが、トリチウムを扱っているのは全国に二か所しかないので、非常に注目されている研究活動です。

相本 極東地域研究センターや地域共同研究センターの名前は、新聞紙上でも時々目にしますね。

瀧澤 実は、教員の最近の研究をまとめたものがなくて、私自身、本学教



■地域に貢献する大学を目指す

員の研究成果をマスコミで報じられて初めて知ったという経験が何回もあります。これからは教員の研究業績を、どんなオープンにして民間との共同研究等を拡大したいと思っています。

相本 私はこの広報誌「トムズマガジン」で先生方と対談させてもらっています。いつも感心することばかりです。

瀧澤 「トムズマガジン」は、本学の多岐にわたる研究を積極的にPRするために生まれました。相本さんには創刊号からご協力いただき、本当に感謝しています。この場を借りてお礼申し上げます。

相本 私の方こそ毎回興味深いお話が聞けて、仕事上の話題づくりにも大変役立っています。その道の専門家から、最先端の話をわかりやすく教えていただけるんですから。

瀧澤 大学の機能は、これまでは教育と研究だったわけですが、新たに社会（地域）貢献という大きな柱が加わりました。本学では地域貢献活動を、かなり熱心に行ってきたと自負しています。例えば、昭和六十二年に設置した地域共同研究センターは全国の先駆けでしたし、平成三年度からスタートした大学開放事業「夢大学 in TOYAMA」は既に二回を数えています。平成八年度には生涯学習を積極的に推進するための生涯学習教育研究センターを設置し、翌九年度から始まった地域開放事業「親子フェスティバル」も六回目を数えます。地域とは単に富山県だけを指すのではなく、環日本海、あるいは北陸のなかの富山というところさえも

ありです。そういう広い意味で地域に貢献することが、国立大学の大きな使命の一つだと思います。あまり知られていませんが、「オープンクラス」といって大学の授業を全面的に公開しているのは、全国でも信州大学と本学の二校だけなんです。

相本 それは意外です。地元にいると、かえって灯台下暗しというか、どこの国立大学でもやっているのかと思っ

ていました。

瀧澤 昨年二月には富山駅前O.Cビル三階のとやま市民交流館で、地域社会への知的貢献と共生を目的としたサテライト事業をスタートさせました。公開講座と相談事業を実施しており、公開講座では、私も先日講師を担当したんです。相談事業では、技術、子育て、教育、法律等についての悩み相談に応じられています。高岡駅前の再開発ビルでも同じ事業ができていないか、目下検討しているところですよ。

これからの、より地域に開かれた大学、地域と共生する大学を目指し、大学の知の資源を有効活用して地域の発展に貢献したいと考えています。

■真の再編・統合を実現

相本 法人化から一年半後の来年一〇月には、富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学と、県内にある三つの国立大学で再編・統合が予定されていますね。

瀧澤 はい。その点も視野に入れて、現在、教育研究組織の再編やカリキュラム等の見直



実させます。

経済学科と経営学科、経営法学科の三つがバランス良く組織化された経済学部は、全国でも珍しいものなのです。現在、三学科の壁を低くしたコース制の導入や、新たな学部の創設も検討しています。

理学部では、高校と大学の連携事業の充実やコアカリキュラムの導入を検討中です。

工学部では、文部科学省の教育COE（特色ある大学教育支援プログラム）に採択されたものづくり工学教育拠点の形成とJABEE（日本技術者教育認定機構）への対応があげられます。

相本 目の前の実利も大事ですが、百年後を視野に入れた教育を考えなければいけませんね。

瀧澤 県内三つの国立大学の学長による公開討論会の席で、会場の参加者から、「大学は誰のためのものか？」という質問が出されたことがあります。とっさに私は、「未来の人類のためのものがある」と答えたのですが、その気持ちはずっと強くなりました。

一番の問題は、教育に対して国がどれくらい熱意を持っているかです。各国が高等教育に出しているお金を見ると、ヨーロッパやアメリカでは国内総生産（GDP）の約一パーセントに対して、日本はわずか〇・五パーセントです。国の将来を左右する教育が、このままでは挫折してしまうのではないかと危惧しています。

相本 大学のトップとして、瀧澤学長の責任もますます重大になりますね。

瀧澤 学長のとらえ方にも二通りあって、「Rector（レクター）」というのはドイツ語で教員集団をまとめていく人、というニュアンスがあります。それに対してアメリカでは「President（プレジデント）」、つまり指導者です。

私は、今の日本の大学の学長には両方の要素が求められていると思います。強い指導力を発揮しつつ、独走になっではいけない、そのバランスが難しいですね。私の名刺の裏には便宜上、「President」という肩書きが付いていますが、私自身はプレジデントとは程遠い人間です（笑）。

相本 きょうは法人化に向けての瀧澤学長の強い決意が伝わってきて、本当に頼もしく感じました。来年一〇月には三大学による再編・統合も控えていることだし、何かと大変でしょうが、おおいに期待しております。どうもありがとうございます。⑤



『富山大学正門前と市電大学前電停』小野美恵子 画
『キャンパス散策——富山大学開学50周年記念 絵葉書（1999年）』より

しを行っています。三大学の職員が集まって準備を進める体制も既にできています。富山の場合、単に県内三つの国立大学が一つになるだけではなく、高岡市に芸術系の四年制学部を作るにあたっては、本学が全面的に協力することにしています。また、本学の教育学部は、まだ仮称ですが、教員養成機能を有する人間発達科学部へと改組される予定ですから、学生にとつてより魅力ある大学になると思います。したがって、文字通りの再編・統合といえます。これは、ぜひ成功させなければなりません。



相本 それはまた、大変な作業ですね。一つの大学の中期目標を立てるだけでも大変なのに。

瀧澤 法人化そのものが五〇年に一度の改革といわれており、それに加えての再編・統合ですから、正直言って容易なことではありません。

相本 富山大学の他の学部の特徴ある取り組みを紹介していただけませんか？

瀧澤 人文学部は三学科から一学科に編成し直し、豊富なスタッフによる環日本海文化に関する教育・研究を充



大学正門

TOM'S Magazine

富山大学広報誌
TOM'S
トムズマガジン「増刊号」

発行日 平成16年3月26日 発行 富山大学広報委員会 ●問合せ先：富山大学総務部企画室 〒930-8555 富山市五福3190 TEL 076-445-6029 FAX 076-445-6033
E-mail: kouhou@adm.toyama-u.ac.jp ■トムズマガジンはインターネットでもご覧いただけます。http://www.toyama-u.ac.jp/jp/ 印刷製本 株式会社「ハロー」

特別緊急対談



瀧澤 弘 富山大学長
相本芳彦 KNBアナウンサー

国立大学法人化によって 富山大学はどう変わる!?

- 国立大学の自主・自立的な運営が可能に
- 学生生活への影響は?
- 国立大学の基本的使命を維持
- 授業料は現行標準額を維持
- 基礎的分野を尊重しつつ産学連携を推進
- オンラインワンを育てたい
- 地域に貢献する大学を目指して
- 真の再編・統合を実現

増刊号
Spring 2004

●本誌は、富大構内などで無料配布しています。郵送のご希望もお受けいたします。 ●無断転載はご遠慮ください。
●本誌は、増刊号です。ご意見、ご要望を是非お聞かせください。 ●本誌は、古紙100%の再生紙と大豆インクを使用しています。

TOM'S Magazine 編集委員会 清水 正明 理学部教授(委員長) 加藤 重広 人文学部助教授 小林 真 教育学部助教授 河野 三郎 経済学部助教授
森脇 壽紀 理学部助教授 山田 茂 工学部助教授 高井 正三 総合情報基盤センター教授 前田 邦樹 総務部企画室長